Reconnel（リコネル）

CASE REPORT 01

自身が培った経験と知見を未来に残す 思いの実現に事業承継を選んだ理由

■事業承継した目的

多様なメディア制作を展開する株式会社Penseur事業承継先に選び、すべてを託す決断をした株式会社三友エージェンシーの小野会長。

創業から今日まで、大学や教育期間を専門領域として紙媒体、テレビ、ラジオ等を中心とした旧体質の広告代理店を長年運営してきました。しかし時代は進み、WebサイトやSNS、動画など急速に求められる領域が進化する現代。

新たなメディアに対応するためには人材育成や採用活動、環境などへの投資など大きな出費が必要と感じていました。

それであれば、思い描く事業を得意とする若い社長が率いる会社と協働して、将来的に創業事業を引き継いでもらいたい、という思いが小野会長の心に芽生え始めたと言います。

■目的を最大化するための大きな選択

長年培った経験を後世に引き継ぎ、将来にわたって得意先に安心してもらいたい。そのためには自分の一代で廃業するのではなく、当時78歳の自分から38歳の若手社長への世代交代を行うことで、激変する社会や業界情勢への対応力を得られると実感。

自分が知り得なかった新たな知見を自社事業にプラスすることで、これまで積み重ねてきた功績をずっと未来に残せる、と実感したようです。

これらの強い思いから、しっかりと自分の思いを託せると判断した株式会社Penseurのグループ会社として傘下に入る決断を下しました。

■ 今後の組織的展望について

小野会長の決断は功を奏し、これまで自社ではかなわなかった新たなメディア領域への挑戦を行い、自社の提案力も拡大し続けています。

未来に事業を継続、承継させるということは、企業としての社会的使命の達成やSDGs活動の一環でもあります。時代の変化に対応できる事業転換や企業同士が知見を持ち寄ることによって、新たな事業創出などの可能性も大きく広がります。

株式会社Penseurはこれからも、企業ビジネスの基幹事業へのプロデュースを行うクリエーティブ企業としての発展を見据えています。現在、世界を覆っているコロナ禍での逆境にも立ち向かい、安定成長を遂げるための企業体質強化が期待されています。

CAMPANY PROFILE

株式会社三友エージェンシー

所在地：大阪府大阪市

設立： 2009年4月

事業内容：総合広告代理業

Copyright (C) Reconnel All Rights Reserved.